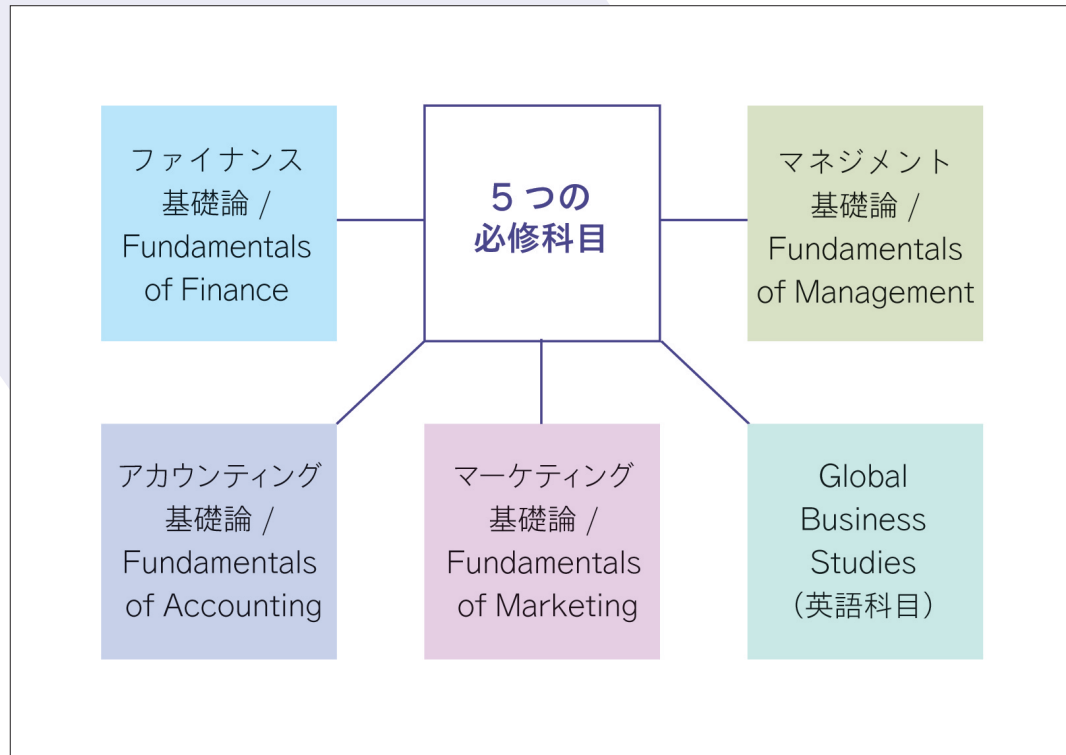


MBSカリキュラムにおける5つの専門領域



欧州経営系大学・大学院国際認証機関から  
EFMD Accredited MBA 認証を日本で初めて獲得

経営系大学・大学院の国際認証機関EFMD（本部：ベルギー・ブリュッセル）からEPAS認証（現：EFMD Accredited MBA）を2018年に日本で初めて獲得しました。

EFMD Accredited MBAは、EFMDがビジネススクールの教育水準を専攻単位で認証するシステムで、対象とする専攻の国際性、カリキュラム編成、戦略性、教育・研究の質など、76項目にわたり、多国籍な専門家で構成される審査委員会による書類および実地視察で評価が行われるものです。そして、その評価に基づき、10ヶ国以上のビジネススクールと企業関係者で構成されるEFMDの審査委員会が最終決定を行います。

本認証を獲得できたのは、研究科の適切な管理・運営などが評価されたものと考えています。

今後もEFMD加盟の世界各国のビジネススクールと積極的に交流、情報交換を行い、総合的な実践的教育、ファミリービジネスおよびスタートアップビジネスの特化分野において、MBSで提供するMBA教育が国際基準に足るものであるという地位を確固たるものにすべく取り組んでいきます。



日本を「前へ」進める  
ビジネス・プロフェッショナル

グローバル・ビジネス研究科長 山村 能郎

明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科（MBS）は、日本経済・社会の活力とダイナミズムの高揚のため、その担い手たる総合マネジメント力を備えたビジネス・プロフェッショナルの育成を目指し、そのための先進的、実践的な教育体制を組んでいます。EPAS国際認証取得により、その水準は国際水準に達していると評価されました。具体的には3つの分野の人材育成をターゲットにしています。

最初のターゲットは、ファミリービジネス（中堅企業）経営者のための後継者育成および関連コンサル人材の育成です。後継者候補は一芸に秀でていても、ジェネラルマネージャーでなければよい経営者にはなりません。すばらしい後継者育成を通じて、企業のサステナビリティや地域社会の発展に寄与できると考えています。

2つ目のターゲットは、意欲と潜在力を持った人材に対するキャリアアップ・チェンジの場の提供です。厳しい知識社会、競争社会にあつて、個人の価値想像力のさらなる向上と、その能力の発揮場所との再編成を促進します。このことは、国際的な考え方や文化的

PROFILE

山村 能郎  
Yoshiro Yamamura

専門職大学院グローバル・ビジネス研究科教授  
専門：都市経済学、ファイナンス

- 1968年 大阪府生まれ
- 1991年 東京工業大学工学部卒業
- 1996年 東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了博士(工学)
- 同年 香川大学経済学部 専任講師
- 1997年 同 助教授
- 2004年 明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科 助教授
- 2012年 同 教授

主な著書・論文

- 『商業用不動産施設の戦略的経営』（共著・プログレス社・2016年）
- 『ファミリービジネスMBA講座』（共著・同文館出版・2019年）
- "Empirical Credit Risk Ratings of Individual Corporate Bonds and Derivation of Term Structures of Default Probabilities," Journal of Risk and Financial Management, 12(3), 2019. (共著)
- "Empirically Effective Bond Pricing Model for USGBs and Analysis on Term Structures of Implied Interest Rates in Financial Crisis," Communications in Statistics - Theory and Methods, 45(6), 1580-1606, 2016. (共著)

所属学会

日本統計学会、日本金融・証券計量・工学会、日本不動産学会

多様性が理解できる人材の育成でもあり、日本経済活性化のひとつの鍵です。

3つ目は、新規事業の立ち上げを実際に担う人材です。社会や企業に活力をもたらす源泉でもあります。新規事業を立ち上げた人たちのインタラクティブを通じて人材育成を促進します。

MBSでは、マネジメント、マーケティング、ファイナンス、不動産・税務、ファイナンス・不動産・ビジネス・ローの5領域の科目を設置して、ジェネラルマネージャーへの道を設計しています。

さらに、アジアを中心としたグローバルな視点を持ち、リーダーシップを発揮できる人材の育成を目指し、海外での研修プログラムや英語科目の充実を図っています。

現在のCOVID19の感染拡大は我々に対して行動変容することを迫っています。一方、今世紀はデータの時代と言われるように、100年に一度の技術革新によって社会経済が大きく構造変化する真っ只中に我々はいまいます。変化にプロアクティブに対応し、世の中を「前へ」進めるリーダーを養成していきます。